

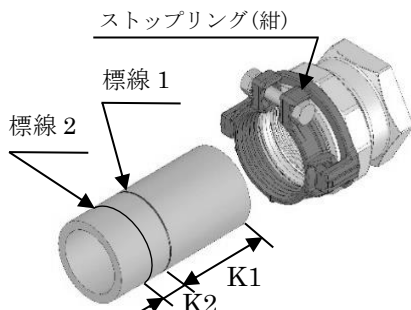
# SKX-V50 (キャップ当て締めタイプ)

## SKX® 施工手順 (塩ビ管用)

### ①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K 寸)を測り、**標線を 2 本** 入して下さい。

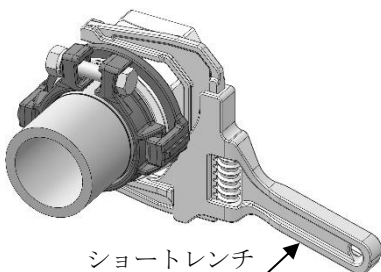
**分解せずにストップリングとキャップが接した状態で標線 1 まで挿し込んで下さい。**



- 注1) ・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。  
・滑剤の塗布は不要です。  
・管止めがある場合は、管止めから 3mm 以上あけて施工して下さい。

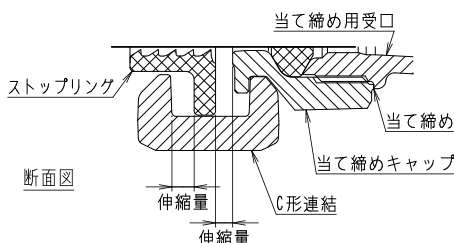
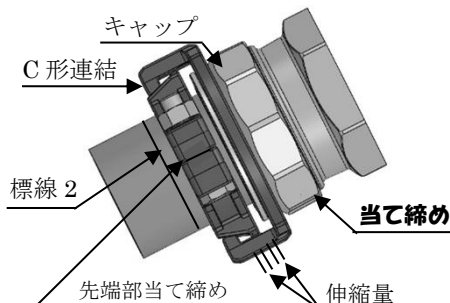
### ②キャップ本締め

キャップを手締めしてパイプを固定した後、ショートレンチで**キャップを当て締め**して下さい。



### ③ストップリング本締め

C形連結を管中心方向に押えながら、**ストップリングを締めやすい位置**にして下さい。  
**ストップリングが 2 本の標線の間かつ両端伸縮量を保った状態で、ストップリング先端部を当て締め**して下さい。



- 注 2) ストップリングは当て締め後さらに**締め付けすぎると破損などの不具合**が生じることがあります。  
注 3) 管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。  
注 4) 再施工時は「施工ハンドブック」を参照して下さい。

### ④接合完了

**ストップリング端面が 2 本の標線の間**にあることを確認してください。

キャップとストップリングの**締め忘れを確認**して下さい。

### 《管の取り外し》

・ストップリング締め付ルト・ナットとキャップを**緩めるだけで管と分離可能(分解不要)**です。

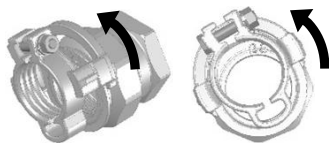
管 呼び径	SR 呼び径 (紺)	本体・ キャップ 呼び径	K (mm)		キャップ 〔 参考締付トルク 〕 N・m		ストップリング 〔 参考締付トルク 〕 N・m		六角 対辺	
			K1	K2						
50	V50	50	75	<sup>+10</sup> <sub>-0</sub>	5	当て締め	(40)	当て締め	(25)	17

注) パイプエンドの場合、K 寸 (K1) は +5/−0 です。

## SKXストップリング（SR）交換手順

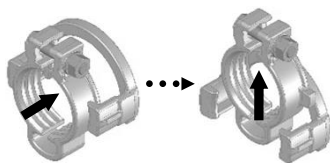
### ①C形連結取り外し

C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外して下さい。



### ②ストップリング取り外し

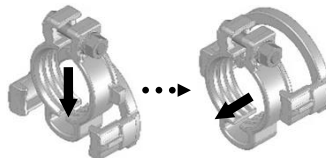
SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜いて下さい。



### ③ストップリング交換

適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離して下さい。

※下図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意して下さい。



### ④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れます。

